

第5回 決勝出場チーム紹介

新廻魚

～目の目を見るシークレットフィッシュ～

星崎 圭亮（宮崎大学 工学部 応用物質化学プログラム 4年）

林田 幸大（宮崎大学 農学部 海洋生物環境学科 4年）



食べられるのにも関わらず、認知度が低く、形状や手間の理由で市場に流通しない未利用魚(SF)を調理し飲食サービスとして提供するビジネスプランです。

「宮崎から世界を変える！」

Clothes Fit Aid

～これひとつで災害に対する不安がなくなる魔法のアプリ～

櫻田 千風（宮崎大学 地域資源創成学部 地域資源創成学科 1年）

谷口 亜美（宮崎大学 地域資源創成学部 地域資源創成学科 1年）

みなさんは、災害に対してどのような不安を抱えていますか。災害大国の日本で、多くの人が抱える不安を解消する「Clothes Fit Aid」。このアプリは災害時に、希望する衣服の提供をサポートし、避難所での生活を快適にします。

「皆さんに『Clothes Fit Aid』の魅力を全力で伝え、災害時の新たなサポートの形を提案します！」



第5回 決勝出場チーム紹介

i-Hunting ～はじめよう、デジタル狩猟時代～

栄喜 公陽（宮崎大学 農学研究科 農学専攻森林緑地環境科学コース 修士2年）



狩猟・捕獲にDXを導入する事業です。具体的には、ドローンを用いた狩猟、ICT罾を用いた捕獲を行います。これにより、効率化・生産性の向上を実現し、①野生鳥獣による農林業被害、②人手不足という2つの課題の解決に貢献します。

「私の好きや興味がつまったこのビジネスプランを、皆さんに最大限伝えられるよう頑張ります！」

CareConnect ～技術でつないで介護をみんなのものに～

緒方 真優（宮崎大学 医学部 医学科 1年）

スマートグラスを用い、介護を必要とする人の日々を自動的に記録し、リスト化するシステム。それを被介護者に見てもらい、その時間でなくてはならないものと、その時間でなくてもいいものに分けてもらう、そのリスト化されたすべきことについての依頼書を自動的に作り、してくれる人とマッチングする。

「少子高齢化している現代社会において、介護の問題は深刻化される事が予想されます。私は今回のビジネスプランで介護の問題に一石を投じることで誰も取り残さない社会の実現を目指します。」



第5回 決勝出場チーム紹介

MY PALLET

～「好き」を描いて個性を形にするアプリ～

窪田 美優（宮崎大学 地域資源創成学部 地域資源創成学科 1年）

植村 文香（宮崎大学 教育学部 学校教育課程発達支援教育コース特別支援教育専攻 1年）



このビジネスプランは、家庭向けに子どもたちが自由におもちゃをデザインできるアプリを提供し、ジェンダーに対する固定観念を払拭することを目指しています。家庭規模に応じたサブスクリプション料金やおもちゃの販売から収益を得ます。

「自分の「好き」に自信を持てる、否定されずに自由選択できるような社会への一歩になりたいです。」

オンライン診療をもっと多くの人へ ～アメリカ式のプラットフォームを作成し、 オンライン診療を身近なものに～

黒木 海音（宮崎大学 医学部 医学科 1年）

特定の方にオンライン診療を広めるために、オンライン診療が進んでいるアメリカ式のプラットフォームを作成します。そしてこのプラットフォームを宮崎県内の診療所、病院に有料で提供することで収益を得ます。

「自分のビジネス、そして思いを全力で伝えます。」



第5回 決勝出場チーム紹介

NailWellness ～健やかな手元をすべての人に～

前田 瑞佳（宮崎大学 工学部 電気電子工学プログラム 3年）



NailWellnessは、爪をいじる癖を矯正し、ストレスと睡眠の管理をサポートするスマートリングです。アプリ連動でフィードバックを提供し、デバイス販売とサブスクリプションで収益を得ます。

「このプランの魅力を100%伝えられるように
全力を尽くします！」

Sustena ～アップサイクルで創る新しい価値～

加藤 義教（宮崎大学 農学部 海洋生物環境学科 1年）

不要な素材を活用し、作り手と買い手をAIでマッチングさせるアップサイクルをテーマとしたアプリ、リヴオロラ。環境負荷を軽減し、新たな価値を生み出すことで持続可能な社会の実現を目指す。

「持続可能な未来に向けて挑戦します！」

